

地域連携推進会議実施報告書

会議日時	令和8年5月19日（火）10：00～		
会議場所	社会福祉法人チハヤ会 本部2階 研修室		
参加者	利用者	小原 武	利用者家族 本間利栄
	地域	斉藤敏昭	福祉・経営 大澤俊介
	市担当者等	みどり市（基幹相談センター）永山裕香	
	事業所	共同生活援助 わたぼうしホーム	
訪問実施日時			
会議／視察内容			
<p>司会進行：チハヤ会：石戸悦史</p> <p>1）挨拶：わたぼうしホーム 施設長 石戸悦史：会議出席へのお礼／質疑ご意見のお願い</p> <p>2）自己紹介（大澤さんは急遽都合で遅れて出席）</p> <p>3）趣旨説明（次第に記載し読み上げ）</p> <p>4）わたぼうしホーム現状報告（パワーポイントにて）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域連携推進会議資料にそって説明 ※職員体制／利用者状況（年齢・区分・障害特性・日常生活状況・外出余暇・家族や地域との交流・地域移行意向確認・体験利用・実習生やボランティア・その他） ※上質なお節介取り組みの報告 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意思決定支援 ・交通ルールなど法律が変わったなどの対応 ・スタッフの人材確保（法人社会貢献事業からの流れ説明） <p>【質疑応答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チアフル&パステルについて。放課後デイ（児童の放課後サービス）と生活介護事業（大人）の複合型であるが大型連休以外は時間的にはかぶらない。生活介護ではニーズに応じて健康・運動や役割活動（ゴミ捨て）／自社製品のパッケージ貼り／アート活動／地域イベント参加など（鹿田山ボラ・スターボックスへ作品展示） ・サテライトについて説明。本体GH（4人以上であれば2か所まで可能）で単身生活を目指す手前のサービス。近隣のアパートで暮らし食事などはGHで準備できる。※単身で暮らす斎藤さんの立場を説明（わたぼうしホームからアパートへ：家事援助と宅配弁当で対応） ・MAKIT（就B）直火コーヒーの説明 ・食事に関して、食材が農協宅配が届くが不足は購入して対応。近隣農家から野菜寄贈も活用している。 ・お節介について（高額購入など）イメージが湧かなければ本人たちの希望することに変化なく、暮らしも変わらない。お節介によって新たな体験により見える暮らしが変わるとい根拠からお節介を提案してすすめている。確かに高額な時もあるが我々のように車を買うわけでない。お金をどう使うかは大事な生涯のテーマである。（身体のリハビリ・意欲向上・家族支援など） <p>5）その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小原さんはしゃべらず（有名なアーティストだと紹介） ・斎藤さんの現在の暮らしに触れ不安などないか確認（ありませんとのこと） ・日本知的障害者福祉協会（全国紙）サポートに掲載されたのでコピーを配布 			